（別紙３）

公表　児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ときスクール			
○保護者評価実施期間	2026年2月16日		～	2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	6人	（回答者数）	4人
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		～	2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9人	（回答者数）	9人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	遠出の外出イベント（USJ,海水浴、工場見学等）を行うことによってさまざまな体験をしてもらっている。	ユニバーサルスタジオジャパン、農園作業、工場体験、海水浴、川遊び、工作体験といった様々な体験をすることによって将来的な目線も育むことが出来、お子様の得意不得意分野の理解が深めることが出来るように支援を行っています。	お子様と楽しく感じてもらっているイベントのしおりを考えて作ってもらうといったことを今後療育内容として増やしていきたい。
2	学習内容は勿論、違った視点からの様子のお話を取り入れれるよう他施設・学校・幼稚園と連携を取れている。	学校さんにもよりますが懇談時同席させていただいたり、お話合いの場を設けさせて頂いているので情報共有や別視点からののご意見を聞かせて頂いている。	就労に向けての連携が難しく、相談支援からの担当者会議が開かれない場合こちらからのご提案をさせていただきたい。
3	eスポーツといった場を設けていることによって、日々の頑張りにも繋げれること。	eスポーツを取り組むことによって、集団での取り組み内でコミュニケーションや視覚からの指先の指示がどのように行えているかを見れるように一つのプレイにずっと取り組まないようにしています。	他児との交流で、大会等開催に向けて場所や物品等をそろえていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	懇談時以外の外出時、他施設、学校等での情報共有が難しく、地域の他児同との交流の場を持つことが出来ない。	事業内での活動で完結してしまい交流の場を設けることが難しい。	eスポーツの対戦や夏祭り屋外で開催等を考えたい。
2	懇談時や利用開始の際にデイの見学等は出来ているが、学校のような参観がないのでどんなことをしているかの様子が共有出来ていない。	子どもたちがどのように活動しているか見る機会が無く、報告と写真や動画しかないため個別支援計画の何にどう関わっているかがご理解いただくのが難しいのかもしれない。	ご都合が合えば懇談時に見学の機会を設けて実際の療育を見てもらい、支援計画内容との紐づけが出来信頼関係の教科に繋げていきたい。
3	多機能型でもあるので保護者様同士の交流の場（父母の会等）を持つことが出来ない。	ご利用いただいているお子様の保護者様が働いている方も多くご都合がよさそうな日時の決定や、多機能であるため年齢分けをした方が良いのか等が決定できずの為なかなか開催が出来ない。	どのように開催が出来るかやご希望の方がどれだけいらっしゃるかアンケート等を行って改めて必要性を検討していく。